

中之島の火山活動解説資料（令和8年8月）

福岡管区気象台

地域火山監視・警報センター

鹿児島地方気象台

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図1、図2-①③）

御岳^{おたけ}火口では、白色の噴煙が最高で火口縁上100m（7月：100m）まで上がりました。御岳火口内斜面では、引き続き複数箇所では白色の噴煙を確認しました。昨月に続き、火口底で水溜まりは確認されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図2-⑤、図3）

御岳火口付近の火山性地震の月回数は、22回（7月：4回）でした。長期的には、御岳火口付近が震源と考えられる地震が時々発生しています。御岳火口付近を除く、御岳周辺の火山性地震の月回数は、29回（7月：5回）でした。

広域地震観測網において、島内に震源が求まった火山性地震はありませんでした。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図4、図5）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められませんでした。

・火山ガスの状況（図2-②④）

東京大学大学院理学研究科、京都大学防災研究所、十島村及び気象庁が実施した観測では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、今期間、観測値を得られませんでした（7月：観測値なし）。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

次回の火山活動解説資料（令和8年9月分）は令和8年10月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、東京大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、十島村及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。



図 1-1 中之島 御岳の状況（8月12日、寄木監視カメラ）

御岳火口では、白色の噴煙が最高で火口縁上 100m（7月：100m）まで上がりました。



図 1-2 中之島 御岳火口内の状況（左：8月12日、右：7月22日 御岳山頂監視カメラ）

御岳火口内斜面では、引き続き複数箇所で白色の噴煙を確認しました。昨月に続き、火口底で水溜まりは確認されませんでした。

御岳山頂監視カメラは、2026年3月26日より運用開始しています。

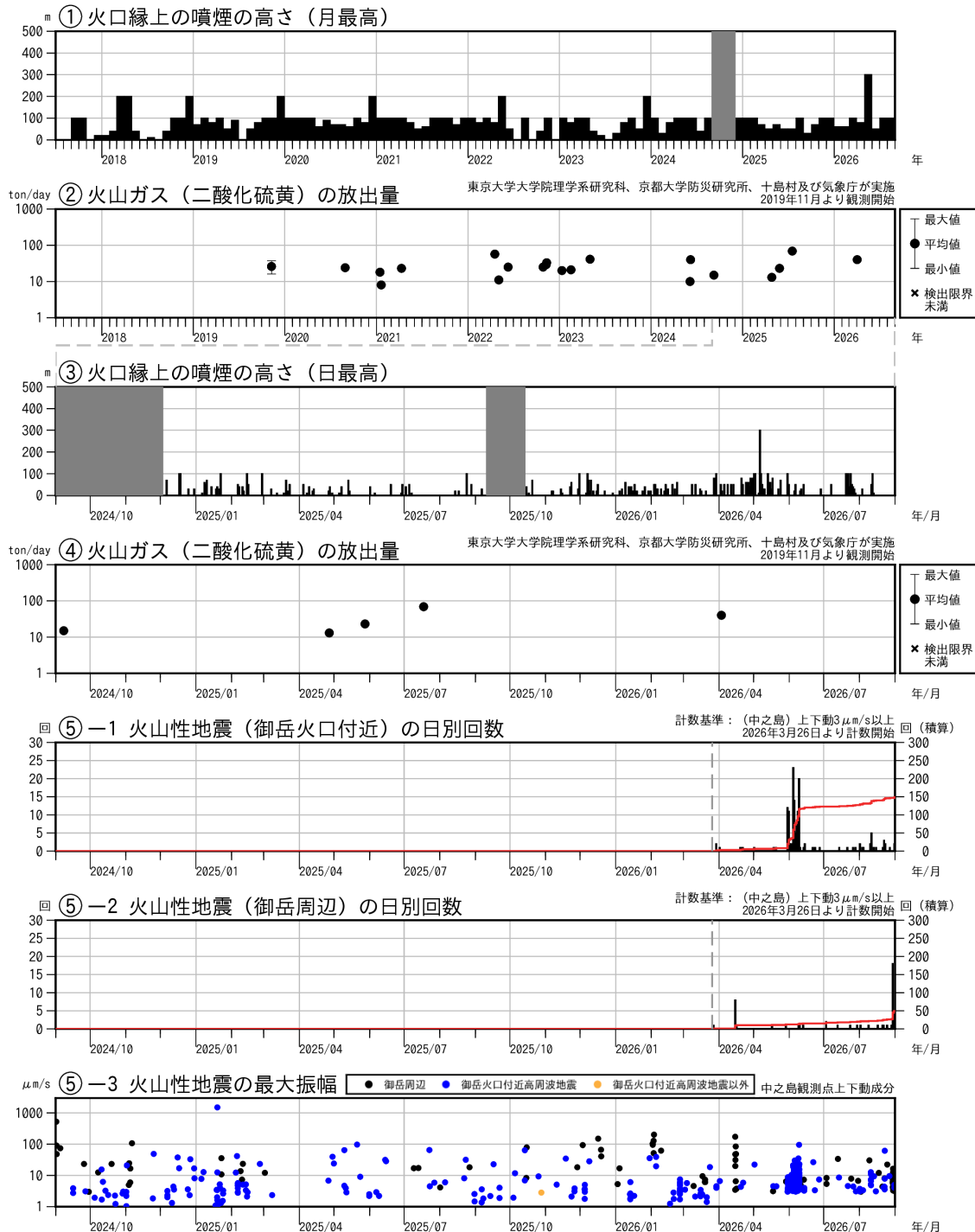


図2 中之島 火山活動経過図（2017年7月～2026年8月）

< 8月の状況 >

- ・御岳火口では白色の噴煙が最高で火口縁上100m（7月：100m）まで上がりました。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、今期間、観測値を得られませんでした（7月：観測値なし）。
- ・御岳火口付近の火山性地震の月回数は22回（7月：4回）でした。御岳火口付近を除く、御岳周辺の火山性地震の月回数は、29回（7月：5回）でした。

灰色部分は監視カメラの障害による欠測を示しています。

2026年3月26日から監視カメラによる噴煙の常時監視を開始しました。2026年3月25日までの噴煙の状況は、毎日08時30分及び14時30分の定時に監視カメラで観測しています。

御岳火口付近及び御岳周辺の火山性地震の回数について、2026年3月26日から「中之島観測点（計測基準：上下動 $3.0\mu\text{m/s}$ ）」で計測しています。

赤線は火山性地震の回数の積算（右軸）を示します。

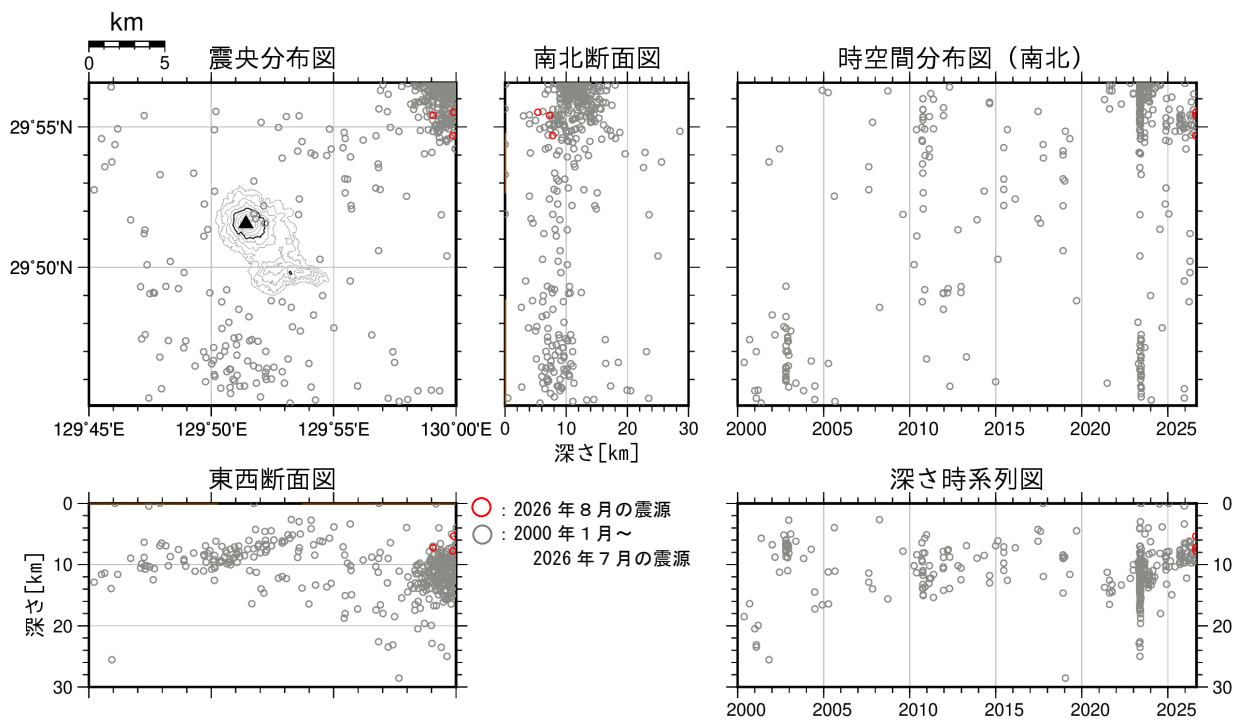


図3 中之島 中之島周辺の震源分布図（2000年1月～2026年8月）

< 8月の状況 >

広域地震観測網において、島内に震源が求まった火山性地震はありませんでした。

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。なお、2020年9月以降については、地震観測点の標高を考慮する等、震源決定の手法を変更しております。

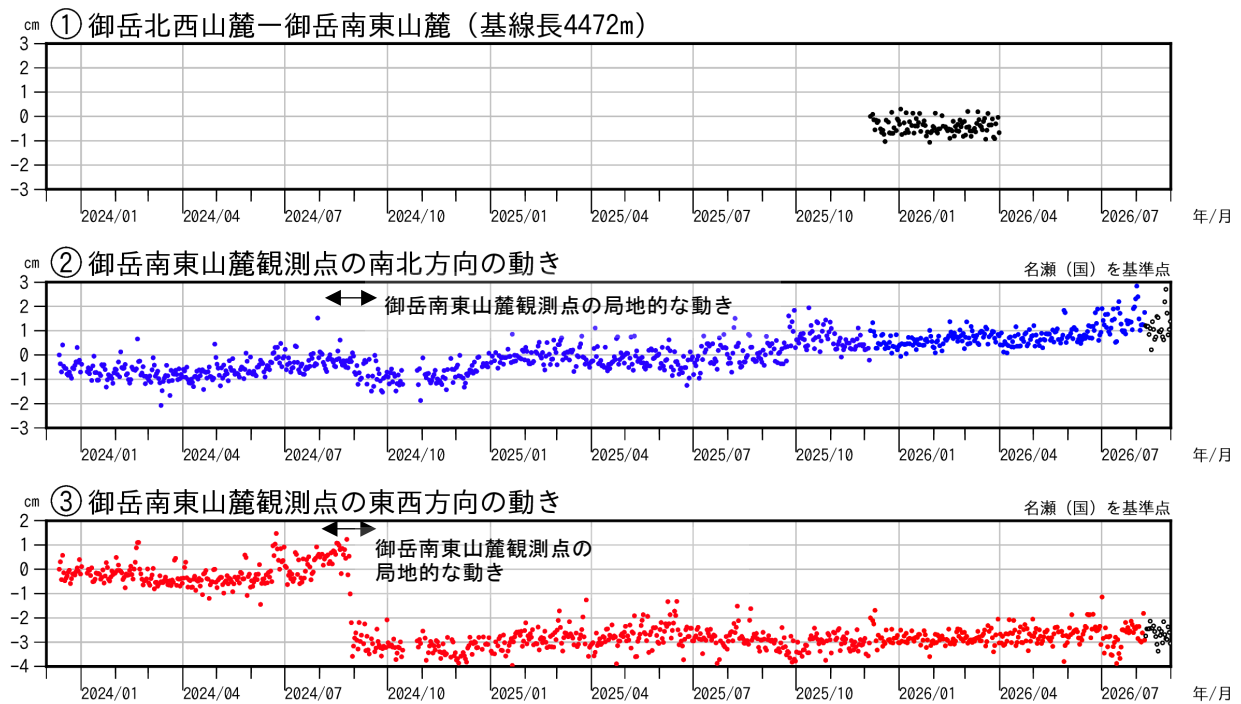


図4 中之島 GNSS連続観測（2023年12月～2026年8月）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められませんでした。

基線は図5の①に対応しています。

②、③の変位は島外の観測点（名瀬（国））を基準としています。

直近の白丸は速報的な解析結果であり、再解析により修正されることがあります。

基線の空白部分は欠測を示しています。

2025年12月6日の観測点更新（御岳南東山麓観測点）に伴うステップを補正しています。

（国）：国土地理院

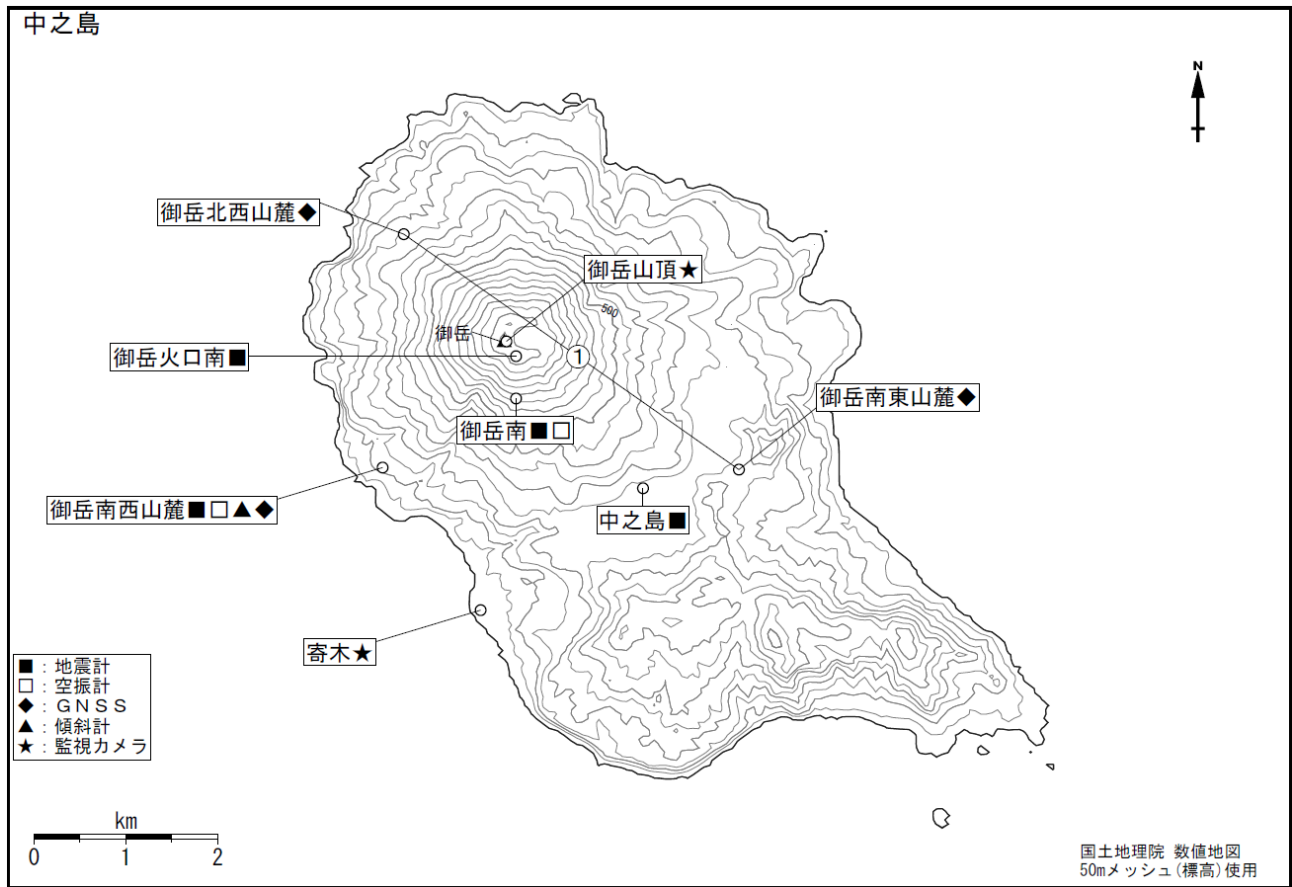


図5 中之島 観測点配置図とGNSS連続観測の基線番号